

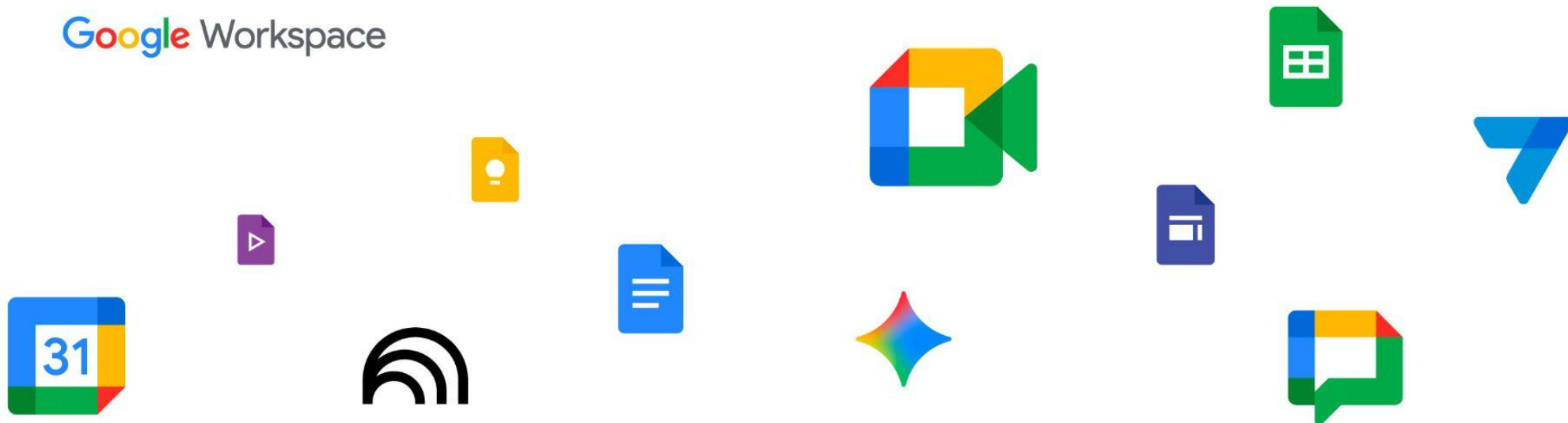
Google Workspace

Google Workspace

活用事例集

2026年5月版

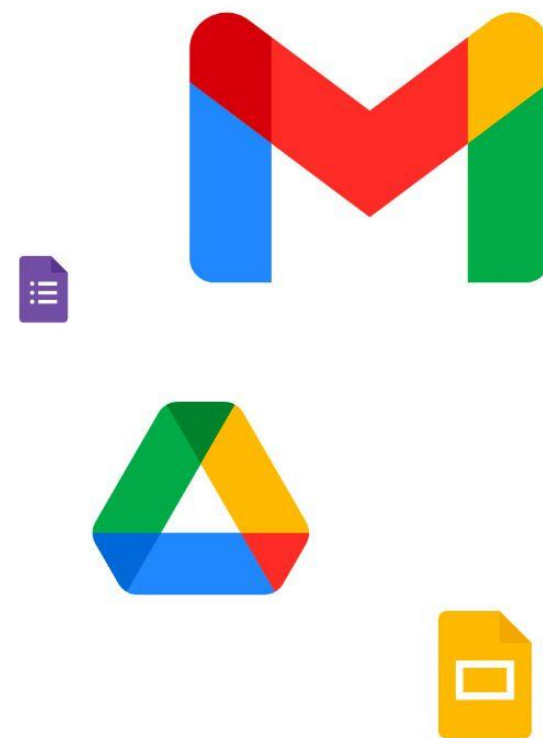




Google Workspace で切り拓く 新たな働き方とビジネス変革

Google Workspace は、場所にとらわれない柔軟な働き方を支え、
チームのコラボレーションを強力に推進するツールです。
そして今、生成 AI の進化により、その可能性は飛躍的に拡大しています。

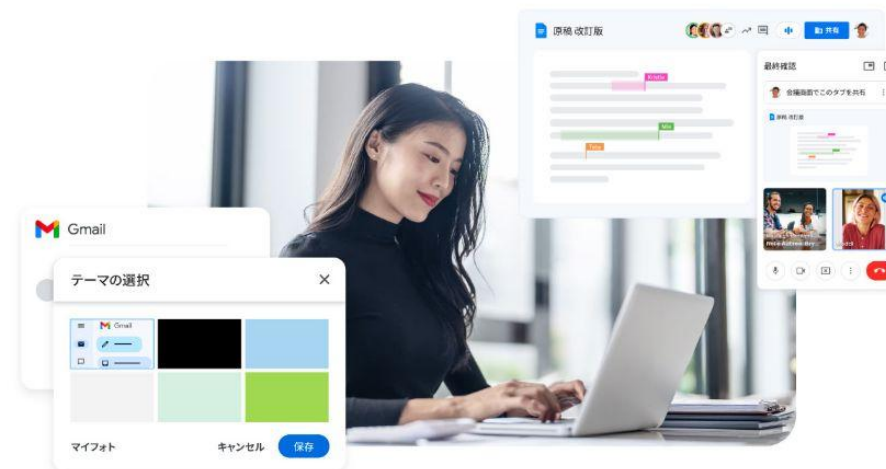
本事例集では、Google Workspace と最先端の生成 AI 「Gemini」 を活用することで、
業務効率化、意思決定の迅速化、新たな価値創造を実現した企業の事例をご紹介します。



Google Workspace

新しい働き方を実現する コラボレーションツール

Google Workspace は、メール、文書作成、カレンダー、クラウドストレージ、ビデオ会議など、ビジネスに必要なツールとコラボレーション機能が統合されたクラウドベースのプラットフォームです。AI を活用した高度な機能と最高水準のセキュリティで、チームの生産性と連携を強化し、多様な働き方に対応します。



Google Workspace に含まれる主なサービス



Gmail
ビジネスメール



ドライブ
クラウドストレージ



Meet
ビデオ会議



カレンダー
共有カレンダー



Chat
チャットでの
メッセージのやりとり



Gemini
AI アシスタント



NotebookLM
AI リサーチ
アシスタント



AppSheet
ノーコード アプリと
自動化



ドキュメント
文書作成



スプレッドシート
表計算



スライド
プレゼンテーション作成



Vids
動画エディタ



Keep
デジタルメモ



サイト
チームや
プロジェクトのサイト



フォーム
オンライン フォームと
アンケート

Google Workspace が選ばれる理由

1. 革新的なリアルタイム コラボレーション

Google Workspace は、クラウド ネイティブな設計により、ドキュメント、スプレッドシートなどで複数人がリアルタイムで共同編集できることに特化しています。ファイルのバージョン管理が不要になり、チームがシームレスに共同作業を進められます。Meet やチャットでのスムーズなコミュニケーションも可能になり、チームの業務効率と生産性を向上させます。

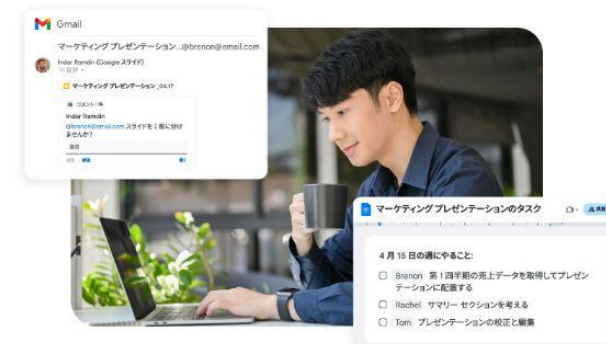


2. 最高水準のセキュリティでデータの安全性を確保

Google Workspace は、最高水準のエンタープライズ グレード セキュリティを提供し、お客様のデータを保護します。AI を活用してマルウェアやフィッシングなどの脅威の 99.9% を自動ブロックし、クラウド ネイティブなゼロトラスト アーキテクチャを採用しています。お客様のデータが Google によって勝手に見られたり、同意なく AI トレーニングや広告に使用されることはありません。

3. AI を活用したイノベーション

Google Workspace は、Gemini などの最先端の AI 機能を統合しています。ドキュメントでの文書作成、スプレッドシートでのデータ整理、スライドでの画像作成など、各アプリで生成 AI の活用が可能です。既存の Google サービスや外部ツールとのスムーズな連携で新しい働き方を支援します。



Google Workspace 公式サイト

<https://goo.gle/gws-intl-ja>



Google Workspace 公式ブログ

<https://goo.gle/gws-blog-ja>

Google Workspace with Gemini

AI が変革するスマートな働き方

Google Workspace with Gemini は、Google が開発した最先端の生成 AI である Gemini を、Gmail、ドキュメント、スプレッドシートなどの Google Workspace に統合したサービスです。テキストや画像などのコンテンツ作成、情報の要約、データ整理、コミュニケーション支援など、多岐にわたる業務を効率化します。



文書作成サポート

ドキュメントや Gmail で、文章の下書き作成や既存テキストの改良をサポート。多様な文書、メール、マーケティング コピーなどの作成を支援します。



データ整理・分析サポート

スプレッドシートで簡単なプロンプトを入力するだけでカスタム テンプレートや表を自動生成。データを分類し、データ整理の効率化を支援します。



画像作成サポート

シンプルなプロンプト入力ですライドで利用するオリジナル画像を生成。画像の作成にかかっていた作業を効率化し、ユニークなスライド作成を支援します。



コミュニケーションサポート

Meet での音声品質向上、カスタム背景作成、リアルタイム字幕、議事録の作成機能を提供。会議やメールの効率化を支援します。



Google の AI について

<https://goo.gle/gws-ja-solutions-ai>

Gemini を試す

 <https://goo.gle/gemini-app-start>



Google Play
Android をお使いの方



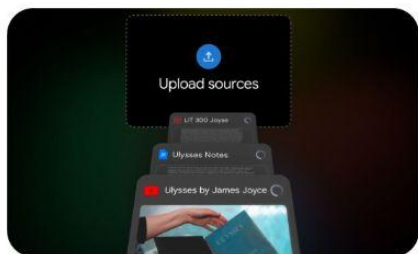
App Store
iOS をお使いの方

NotebookLM

あなた専用の AI リサーチ アシスタント

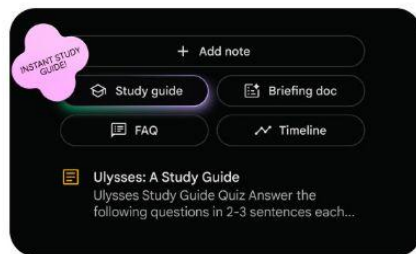
NotebookLM は、アップロードしたドキュメントや動画などの提供ソースに基づき、調査や学習を支援する AI リサーチ アシスタントです。提供されたソースのみを分析し、質問への正確な回答、要約、コンテンツ生成を行います。

回答には引用元が明示され、情報の信頼性が確保されます。リサーチ作業の効率化、思考の整理、創造性の向上を強力にサポートし、膨大な情報から必要なものを迅速に見つけ、深い理解やアイデア創出、音声での学習を支援します。



ソースのアップロード

PDF、ウェブサイト、YouTube 動画、音声ファイル、ドキュメント、スライドなどをアップロードすると、NotebookLM がそれらを要約し、トピック間の興味深い関連性を導き出します。



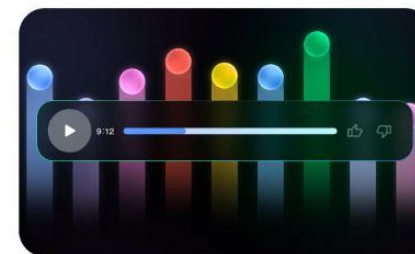
即時の情報分析

すべてのソースの準備が整うと、NotebookLM は情報の処理を開始し、ユーザーにとって最も重要な情報に関して、パーソナライズされた AI エキスパートとしてサポートします。



回答だけでなくソースも確認

NotebookLM は、ソースからの正確な引用を表示して生成結果の明確な根拠を示すため、すべての回答を安心して確認できます。



インタラクティブな音声概要

音声で要約を作成し、外出中に聞くことも可能です。聴覚学習を望むユーザーや、マルチタスク中の情報把握ができます。



NotebookLM 公式サイト

<https://goo.gle/notebooklm-info>



NotebookLM を試す

<https://goo.gle/notebooklm-start>

Gemini Deep Research

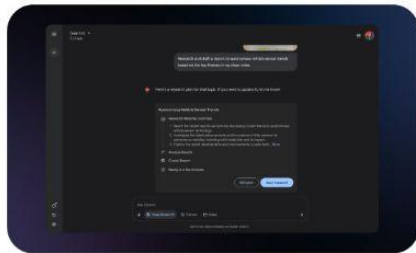
リサーチに、深い洞察を

Deep Research は、複雑な調査タスクを効率化するエージェント機能です。

入力されたプロンプトに応じて多角的な調査プランを立て、ウェブ上を自動でブラウジングし、サイトの情報を収集します。

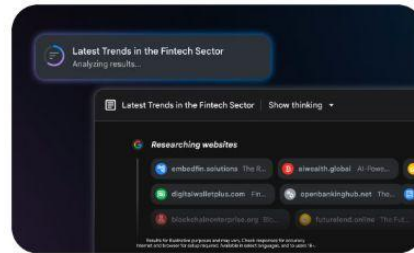
集めた情報に基づき推論を重ね、詳細で洞察力のある包括的なレポートを数分で作成。

生成されたレポートは、ドキュメントにエクスポートしてチームと容易に共有できるため、業界のトレンド分析、競合状況の把握、さらには営業会議前の顧客調査などに活用できます。



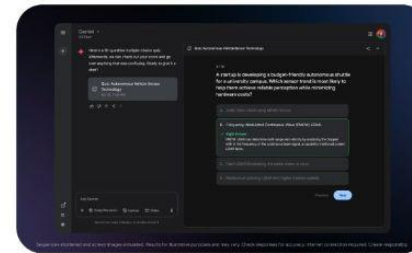
調査プランの作成

入力されたプロンプトに合わせて、多角的で詳細な調査プランを作成します。



ウェブを網羅

ウェブ上を自動的に検索して入念に情報を参照し、関連性の高い最新情報を提示します。



深い推論能力

収集した情報から反復的に推論を行い、次のステップや動作を決定。思考プロセスも表示され、どのように結論に至るか理解できます。



包括的なレポート

集約した調査結果を統合し、包括的なレポートを数分で作成します。詳細情報や分析データ、主要なテーマを盛り込み、役立つ情報を提供します。



Gemini Deep Research 公式サイト

<https://goo.gle/gemini-deep-research>



Gemini Deep Research を試す

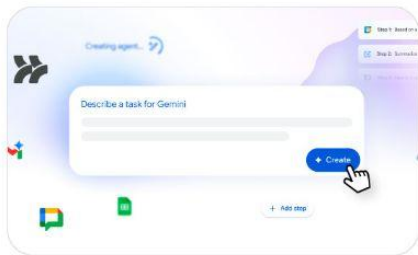
<https://goo.gle/gemini-deep-research-start>

Google Workspace Studio

AI エージェントで日常業務を自動化

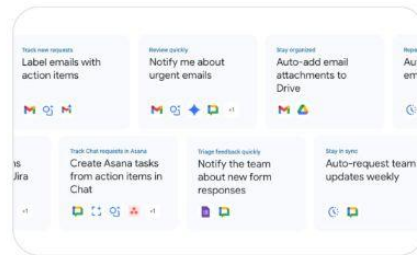
Google Workspace Studio を活用して、Google Workspace 内で AI エージェントを設計、管理、共有しましょう。

Gemini の高度な推論能力を活用することで、コーディングの知識がなくても、自然言語で指示を出すだけで誰でも簡単にカスタム エージェントを作成できます。単純なタスクの自動化から、複数のアプリをまたぐ複雑なビジネスプロセスの処理まで、日常業務を劇的に効率化します。



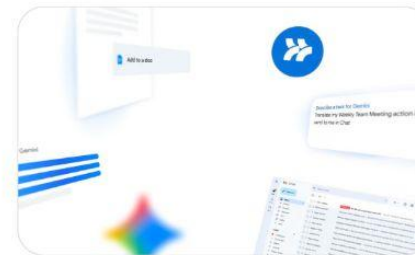
エージェントの簡単作成

自動化したい内容を自然言語で指示するだけで、即座にエージェントを構築します。コードを書く必要はなく、数分で実用化が可能です。



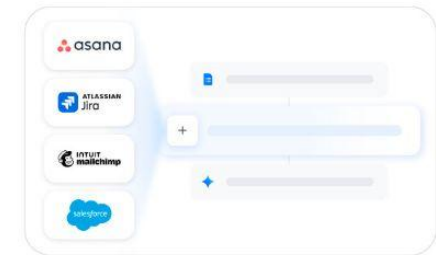
豊富なテンプレート

「未読メールの要約」や「アクションアイテムのラベル付け」など、豊富なテンプレートから選ぶだけで自動化を即開始。柔軟なカスタマイズも可能です。



Workspace アプリとの統合

Gmail 等のサイドパネルから直接操作可能。アプリを切り替えず、作業を継続したまま、日々の業務を効率的に対応できます。



ビジネスアプリ間の連携

外部アプリと接続し、業務フロー全体を統合管理。複数のツールをまたぐ複雑なプロセスも、Workspace を起点にシームレスな自動化を実現します。



Google Workspace Studio を知る

<https://goo.gl/gws-studio-info>



Google Workspace Studio を使ってみる

<https://goo.gl/gws-studio>

Nano Banana

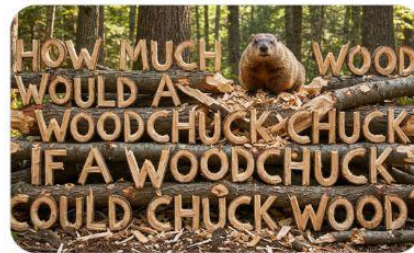
自由に描いて夢を現実に

Nano Banana は、Google の最先端 AI モデルを搭載した画像生成および編集ツールです。テキスト入力による高精細な画像生成に加え、参照画像のスタイル適用、部分的な修正、さらには画像内のテキスト生成や翻訳まで対応します。Google 検索と連携した正確な描写や、キャラクターの一貫性を維持したビジュアル作成が可能で、マーケティング素材やプレゼンテーション資料の作成を劇的に効率化します。



自在な構図とスタイルの一貫性

複数の画像を組み合わせたデザイン生成や複雑なシーン合成を実現。ブランドの一貫性を保ちながら、理想の構図を構築します。



高精度な文字描写と多言語展開

画像内への鮮明なテキスト生成に加え、デザインを維持したままテキストを翻訳し、置換することが可能に。グローバルな展開を加速させます。



検索連携とグラウンディング

Google 検索と連携し、現実世界の情報を反映。最新のイベントや場所、物体に関する事実に基づいた、正確で信頼性の高い図解を作成できます。



直感的な編集とプロ品質の制御

「部分編集」や「描き込み」による直感的な修正に加え、照明やアングルも細かく指示可能。最大 4K の高解像度で、高品質な画像が生成できます。



Nano Banana 公式サイト

<https://goo.gle/nano-banana-info>



Nano Banana を試す

<https://goo.gle/trial-nano-banana>

活用事例 目次

※業種、企業名の掲載は五十音順

★:新たに追加された事例

医療関連、ヘルスケア、ライフサイエンス

京都岡本記念病院 ★	12
株式会社ソラスト ★	13

飲料、食料品、飲食業

株式会社すかいらーくホールディングス	14
------------------------------------	----

観光、レジャー

星野リゾート ★	15
--------------------------	----

教育

青山学院大学 ★	16
駒澤大学	17

金融サービス

株式会社十六フィナンシャルグループ	18
ライフネット生命保険株式会社 ★	19

交通、運輸、物流

全日本空輸株式会社	20
日本航空株式会社	21

小売、卸売

株式会社AOKIホールディングス	22
エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社	23
株式会社オカモトホールディングス ★	24
株式会社サンエー ★	25
生活協同組合コープさっぽろ ★	26
株式会社ビームス ★	27

サービス業

株式会社スタイル・エッジ ★	28
株式会社 船井総研ホールディングス	29
八千代エンジニアリング株式会社 ★	30

活用事例 目次

※業種、企業名の掲載は五十音順

★:新たに追加された事例

情報通信

株式会社NTTドコモ ★	31
ソフトバンク株式会社	32
株式会社メルカリ	33

製造業

日本特殊陶業株式会社	34
ミネベアミツミ株式会社	35
ローム株式会社 ★	36

政府、官公庁、地方自治体

秋田県	37
札幌市	38
宮城県	39

テクノロジー

株式会社ラクス ★	40
---------------------------	----

メディア、エンターテインメント

株式会社コシダカホールディングス ★	41
株式会社TBSテレビ	42
株式会社博報堂 ★	43
吉本興業グループ / 株式会社FANY ★	44

その他

ケイアイスター不動産株式会社 ★	45
----------------------------------	----



New

京都岡本記念病院

【業種】医療関連、ヘルスケア、ライフサイエンス

【本社所在地】京都府

In partnership with:
株式会社TSクラウド



課題

地域医療を支える京都岡本記念病院では、全職員をつなぐ公式な連絡手段がなく、シャドーITが蔓延していました。業務には紙ベースの運用や表計算ソフトでの出退勤管理が残っており、IT化の遅れが業務効率化を阻害。これにより重要な情報の伝達に時間を要する状況が生じていました。アナログな業務プロセスは職員の残業増加の一因となっており、統一のコミュニケーション基盤構築と働き方改革の推進が急務でした。

病院DXを力強く推進。SSOとポータル活用で 院内の情報共有を変革し、場所を問わない働き方を実現

同院は、職員約1,600名をつなぐ情報共有基盤としてGoogle Workspaceを導入し、Google Cloud上に院内ポータルを構築しました。Google Workspaceによるシングルサインオン(SSO)を展開し、職員が院内外から必要なデータソースへGoogleアカウント1つでアクセスできる環境を整備しています。さらに、個人のスマートフォンを業務に活用するBYOD(Bring Your Own Device)も採用し、緊急時の連絡体制を確保。場所を選ばずに働ける柔軟な環境を構築しています。1,600名規模の総合病院におけるDXとしては国内では極めて早期にGoogle Workspaceを利用開始し、働き方を変革しています。



- ★ 情報共有のスピードが劇的に向上し、残業時間と残業コストの大幅な抑制を実現
- ★ シャドーITが大きく減少し、管理体制の強化に成功。院内ポータルの使用率は99.8%
- ★ 院外から必要情報にアクセスでき、災害発生時の迅速な安否確認と状況把握が可能に

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

医療、
ヘルスケア

飲食、
食料品

観光、
レジャー

教育

金融
サービス

交通、運輸、
物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、
エンタメ

その他



New

株式会社ソラスト

【業種】医療関連、ヘルスケア、ライフサイエンス 【本社所在地】東京都

課題

医療・介護・保育サービスを全国展開する株式会社ソラストでは、現場のナレッジ共有と業務効率化が喫緊の課題でした。従来の社内IT環境では個人の知恵に依存する部分が多く、従業員の離職に伴う知識の喪失や、現場での情報伝達に個人ツールが使われるセキュリティリスクも懸念されていました。また、中期経営計画で掲げる「人とテクノロジーの融合」を推進するため、全社的なDX基盤の刷新とコスト最適化が求められていました。

3万人の全従業員が Google Workspace と Gemini を活用。 ナレッジ共有と業務標準化で医療・介護・保育業界のDXを推進

同社は、経営陣主導で Google Workspace への全面移行と Chromebook の導入を決定し、現場のナレッジを集約することと業務標準化を図る組織的な働き方改革を推進しています。現在は、分散していた情報を Google Workspace に集約し、Gemini や NotebookLM を活用することで、経験の浅い従業員でも必要な知見に素早くアクセスできる環境を構築しています。これにより、セキュリティを担保しながら業務効率とサービス品質の向上を図り、「人とテクノロジーの融合」によるヘルスケア領域のDXを加速させています。



- ★ 強固なセキュリティ環境構築とガバナンス適正化を実現
- ★ Gemini や NotebookLM を活用し、現場に蓄積された経験や知見の継承を推進
- ★ 現場主導で生成 AI 活用が浸透し組織全体のデジタル変革が加速

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM
AppSheet
ChromeOS / Chromebook

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他



株式会社すかいらーくホールディングス

【業種】飲料、食料品、飲食業 【本社所在地】東京都

課題

すかいらーくホールディングスは、「ガスト」や「バーミヤン」など20以上のブランドを約3,000店舗展開しています。全業態を合わせた従業員数は約9万人に上り、高頻度かつ双方向で発生する情報伝達の効率化が、店舗運営における重要課題でした。加えて、さまざまなデータを扱うため表計算ツールのファイル容量が大きくなり、共有しにくさも問題に。データ容量にとられない共有方法も求められていました。

Google Workspace により店舗情報の共有を迅速化、接客・サービスの向上にも貢献

同社では、共同編集と情報共有の効率化に有効なコラボレーションツールとして Google Workspace を導入しました。まず取り組んだのが、従来のデータを Google スプレッドシートに置き換えていくことです。定型データの取り込みや更新作業、メール発信などを Google Apps Script (GAS) で自動化することで作業負担の軽減を従業員に実感してもらい、社内利用を促しました。社内ナレッジの共有には、Google サイトを活用し、従業員との情報共有を省力化。さらにシフト調整やリソース配分には Google フォームや Google Chat を活用するなど多彩なアプリを使いこなし、多分野にわたる業務の効率化に成功しています。



- ★ スプレッドシートの共同編集により、ファイル容量の重い表計算データでも共有が簡単に
- ★ 約9万人の従業員との情報伝達に Google サイトを活用、高頻度かつ双方向のコミュニケーションを効率化
- ★ 本部の接客・サービスのノウハウを、Google Meet によって遠隔地の店舗に直接提供

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

課題

星野リゾートは、「旅を楽しむ」をテーマに国内外で75施設*を運営しています。事業規模が拡大する中で、変化に即応できる強固な情報共有基盤の構築や、重要性を増す個人情報の保護が急務となっていました。加えて各施設の魅力を発信する「魅力造成」業務においては、企画立案や文章作成に多大な時間を費やしており現場スタッフの負担軽減と、質の高いアウトプットの両立が主要な課題となっていました。

*2026年2月時点

Gemini の活用で「魅力造成」業務の時間を30%削減。 AI との協働で創造性と生産性を最大化する IT 戦略

同社は、変化に強いコラボレーション基盤づくりとセキュリティ強化のために Google Workspace を導入。

さらに、全社的な IT 人材育成の一環として Gemini も活用しています。施設の魅力を発掘・発信する

「魅力造成」業務では、従来、スタッフが苦慮していた企画の壁打ちや、プレスリリースの文章作成・校正に生成 AI を活用。Gemini が提示する多角的なアイデアを人間が絞り込むという役割分担により、創造性の向上と業務効率化を両立させています。加えて、顧客アンケートの分析や自然言語によるコード生成に Gemini の活用範囲を広げ、スタッフ一人ひとりがテクノロジーを駆使して新たな価値を創出する環境を整えています。

- ★ 文章作成や校正に Gemini を活用し、「魅力造成」業務の時間を約 30% 削減
- ★ Gemini による企画の壁打ちで、固定概念にとらわれない旅の体験価値を創出
- ★ 分析やコード生成のハードルを下げ、IT 活用に対するスタッフの前向きな意識変革を実現



Gemini を活用して企画した金沢片町「魅力造成」の様子

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM

青山学院大学

【業種】教育 【所在地】東京都

課題

自由で幅広い学問領域を有する総合大学である青山学院大学。同大学では、コロナ禍での授業の全面オンライン化に伴い、LMS（Learning Management System）へのアクセス集中とサーバー負荷の増大が深刻な課題となっていました。特に動画教材の配信や課題提出によるデータ量の急増に対し、オンプレミス環境ではストレージ容量や性能の拡張に限界があり、学びを止めないための安定した基盤整備が急務となっていました。

LMS の負荷分散から始まった教育 DX。 遠隔下の共同編集で共創を促し、高度な教育研究基盤へ

同大学は、Google Workspace を活用して既存の LMS を補完し、段階的に教育基盤を進化させています。当初は教員向けに Google ドライブを開放し、大容量の動画教材などを退避させることで、コストをかけずにシステムダウンの危機を回避しました。その後、Google Classroom とドライブを通して共同編集によるグループワークを定着させ、対面制限下でも「学び合う」文化を醸成しました。さらに 2026 年からは Gmail を含む有償版への移行を決定。コミュニケーション機能と学習活動をシームレスに統合し、より高度な教育研究プラットフォームへの進化を推進しています。

- ★ ドライブに動画教材を退避させ、LMS の負荷軽減と低コストでの安定稼働を実現
- ★ 共同編集機能の活用により、学生同士が学び合うコラボレーションを促進
- ★ 2026 年より Gmail を導入し、コミュニケーション機能を学習基盤へ完全統合



■ 利用サービス

Google Workspace for Education Plus

課題

教育や研究活動に加えて地域貢献や行政との連携強化、国際対応、社会問題への取り組みなど、大学に求められる役割はますます多様化・複雑化しています。近年、教職員の負担が増加したことを受け、駒澤大学では業務効率化のため生成 AI の導入を検討。さまざまな生成 AI サービスを検証するなかで見えてきたのは、日々の業務に生成 AI を無理なく組み込み、教職員が継続して使える仕組みづくりの必要性でした。

生成 AI 活用をもっと「当たり前」に。 Gemini 連携で加速する業務改革

駒澤大学では、教職員が日常業務で使用する Google Workspace とシームレスに連携できる

Google AI Pro for Education を採用。ツール切り替えの手間を省き、業務プロセス内で生成 AI を活用できる

環境が実現しました。導入効果を最大化するために「AI 推進プロジェクト」を発足。説明会やセミナーの開催に加え、汎用的な活用法から部署固有の業務に特化したものまで、多様なユースケースと効果的なプロンプトを開発・蓄積しています。さらに、AppSheet で構築した専用サイト「Gemini Lab」で教職員にユースケースを共有し、利活用の促進につなげています。アンケートの集計・分析や議事録作成支援、マニュアルをはじめとする文書作成など、多岐にわたる業務で生成 AI の利用が広がっています。



Gemini Lab のユースケース紹介画面

- ★ Google Workspace との自然な連携により、各種アプリで生成 AI の積極利用を推進
- ★ 業務効率化によって創出した時間を活用することで、学生に対してより細やかな個別対応が可能に
- ★ 生成 AI チャットボットによる 24 時間対応をはじめ、教職員だけでは難しかったサポート体制を実現

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

AppSheet

Google Workspace for Education Plus

Google AI Pro for Education

課題

岐阜県・愛知県の地域経済を支える十六フィナンシャルグループは、保守的な組織文化の中で、業務効率化の余地を見出していました。電話や丁寧でかきこまったメールでの連絡が中心だったため、情報伝達が遅く、日程調整にも多大な時間を要していたのが実情です。また、社内ネットワーク環境が統一されていなかったために、部署間やグループ会社間での円滑な資料共有が難しい状況でした。金融機関ならではの厳格なセキュリティ要件を満たしつつ、DXの中核となるコミュニケーション基盤の整備が急務となっていました。

堅いあいさつが絵文字に。

Google Chat を活用して迅速かつダイレクトな企業文化を醸成

同社では、Google Workspace の導入により、日程調整や議事録作成などの業務負荷を削減し、部門横断のコミュニケーションと同時共同編集による円滑な資料共有を実現しています。まず取り組んだのが、Chat の利用促進です。絵文字によるリアクションを推奨することで社員間の心理的な距離を縮めつつ、会話のラリー数の圧縮、新しい社風の醸成に努めました。さらに、400 名のアンバサダーによる現場主導の浸透支援や、研修・アフターフォローを重ねたことも利用定着を後押ししたほか、活用事例やノウハウを集約したヘルプサイトも構築。保守的な組織文化を刷新し、全社的な DX 推進の土台を築いています。



Chat によるスムーズな情報伝達で業務効率化を実現。意思決定のスピードが格段にアップ



グループ全社共通のコミュニケーション基盤を整備。部門横断的なプロジェクトによりグループシナジーを強化



場所にとらわれない柔軟な働き方を実現し、社員の意識改革を後押し。保守的な組織文化を変革

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini



New

ライフネット生命保険株式会社

【業種】金融サービス 【本社所在地】東京都

課題

ライフネット生命保険株式会社は、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスを提供することで、お客さま一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念を掲げるネット生命保険のパイオニアです。設立以来、少数精鋭体制で事業拡大を続けるため、個々の生産性向上が経営課題でした。自社開発のLLM ツールなどを試行していましたが、Google Workspace 上に蓄積された情報資産とのシームレスな連携に課題を残していました。

AI 推進とデータ構造化の両輪で Gemini 活用を最大化。 全従業員への展開により日常業務への統合を実現

2024 年 8 月より段階的に全従業員へ Google Workspace with Gemini を展開。Google ドライブ上の情報を直接参照できる利便性から、現在の利用率は 100% 近い水準に達しています。その結果、日常業務で利用しているアプリとの統合が進み、会議においては Gemini による議事録作成が標準化され業務効率が劇的に向上。また、NotebookLM に社内規程や過去の提案事例を学習させることで、社内の問い合わせへの回答生成や新規事業アイデアのブラッシュアップに活用しています。さらに、AI 推進チームによる継続的な勉強会の実施に加え、ドキュメントの構造化を全社的に推進する専門チームも発足し、AI 活用の最大化に向けたデータ基盤の整備にも着手しています。



- ★ 前年比約 1.7 倍となる新規事業提案数の増加に加え、内容の精緻化による質の向上を実現
- ★ 議事録作成、翻訳、プログラミング補助など幅広い業務に AI を活用
- ★ AI 活用による時間短縮やアイデア生成の補助により、少数精鋭体制での生産性を最大化

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



全日本空輸株式会社

【業種】交通、運輸、物流 【本社所在地】東京都

課題

ANA グループでは、2013 年から全社で Google Workspace を利用し、変化の激しい市場環境に対応するため、社員一人ひとりの生産性向上と創造的な働き方の実現に向けたデジタル変革を推進してきました。この既存環境でそのまま活用できる生成 AI として Gemini に注目し、Google Workspace を最大限に活かしながら、幅広い業務に対するパフォーマンスをさらに加速させることに挑戦しています。

Google Workspace と Gemini のシームレスな連携で DX を推進

同社は、全グループ社員約 4 万人に「Google Workspace with Gemini」を導入し、業務効率化を進めています。Gemini は、議事録のドラフト自動作成、Gmail・Google ドキュメントのドラフト作成や一次レビュー、Google ドライブ上のデータ集約・分析など、日常業務に幅広く活用されています。特に、多くの部門で Gemini を使った企画書のブラッシュアップや効果的なプロンプトの作成が実践されており、作成されたプロンプトは Google Chat のスペースで共有されています。これにより、好事例やノウハウを部署を超えて学び合い、個人の生産性向上だけでなく、組織全体の生成 AI 活用能力の底上げにもつなげています。Google の環境を業務の基盤としているからこそ、多くの業務シーンで生成 AI 活用の効果を最大化しています。



Google Meet の Take notes for me を活用して議事録作成を効率化し、より付加価値の高い業務に集中



Gemini による調査作業や文書校正の自動化により、ドキュメントや Google スライド作成にかかる時間を大幅に削減



ドライブや Google スプレッドシートで共同編集を行ったデータの集約や分析を Gemini の活用によりさらに加速

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他



日本航空株式会社

【業種】交通、運輸、物流 【本社所在地】東京都

課題

日本の大手航空会社の1つである日本航空は、長年の課題としていたファイル管理の煩雑さに直面していました。資料作成が個人での閉じた環境から始まりメール添付で配布するやり方では、社内ストレージを圧迫するばかりか版数管理も煩雑になり、生産性向上に限界がありました。これらの課題解決と働き方改革推進のため、クラウドネイティブな環境への移行が急務でした。

Google Workspace の導入により約 45,000 ユーザーの生産性向上と意識改革に成功

同社は「攻めのDX」を推進する原動力として Google Workspace を導入。目指したのは、従来の「個人で完結する働き方」から、「チームで成果を上げる働き方」への転換です。導入決定から約半年後には、グループ全体で約 45,000 名にアカウントを展開。1年間の移行期間を経て、全面的な移行を完了しました。導入を成功に導いた要因の1つが、Google Workspace のクラウドネイティブな特性を活かした学習環境の整備です。業務の合間にも学べるよう、学習テキストや社内オリジナルの動画を整備し、継続的な自己学習を促進しました。さらに、IT部門だけでなく、現場メンバーによる情報発信・推進活動を通じて、現場主体の変革マインドを醸成。これにより、ツールの導入にとどまらない、働き方そのものの見直しにつながりました。



- ★ 職種に関係なく全従業員を巻き込むことで新環境への不安を解消し、新しい働き方のビジョンを共有
- ★ メール主体の業務から Google Chat へとシフト。従業員間の迅速かつ綿密な連携が広がり、既存業務が円滑化
- ★ チーム内でリアルタイムな情報共有や共同作業が可能となり、意思決定と資料作成の時間が短縮

■ 利用サービス

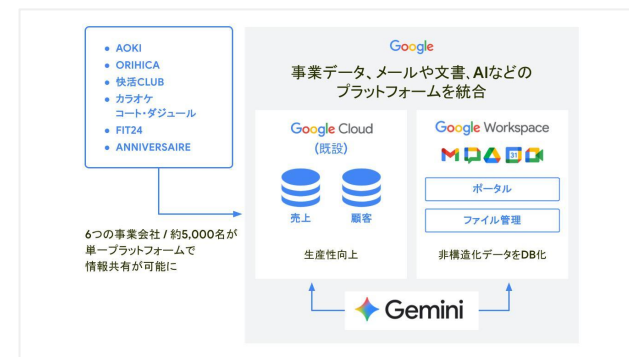
Google Workspace with Gemini
ChromeOS / Chromebook

課題

多様な事業を展開する AOKI グループでは、従業員・契約社員・パート社員総数約 5,000 名のコミュニケーション基盤が事業会社ごとに分断されていました。特に課題となっていたのが、本部と店舗間における情報伝達です。店舗から本部への発信ができず、本部からの一方通行な情報伝達となっており、現場や顧客の声をタイムリーに収集する手段に苦労していました。セキュリティや運用面も担保しながら、企業成長につなげられるソリューションの導入が急務となっていました。

Google Workspace と Gemini の活用により 新時代に合わせたワークスタイルを実現

同社はグループ全体のコミュニケーション基盤として Google Workspace を導入し、約 5,000 名の従業員が単一のプラットフォーム上で情報を共有できる環境を整備しました。これにより、事業会社間の連携が強化され、本部と店舗の間でも双方向のやり取りが可能に。現場の状況や顧客の声を、リアルタイムに把握できるようになりました。さらに、Google Workspace with Gemini も早期に導入。メール対応の効率化や情報収集の迅速化、議事録の自動生成、マーケティング資料の草案作成、アイデア出しの支援など、さまざまな業務に Gemini を活用し、従業員一人ひとりの生産性と創造性の向上を実現しています。



Gemini を活用した Google Cloud / Google Workspace 連携の構想図

- ★ コミュニケーション基盤がグループ全社で統一されたことで、分断されていた事業会社間の連携を強化
- ★ メール対応や情報収集に Google Workspace with Gemini を活用し、業務効率と創造性が向上
- ★ セキュリティ リスクの低減や運用負荷の大幅減の効果を見込み、Chromebook も同時に導入しクラウド活用を促進

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
 ChromeOS / Chromebook



エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

【業種】小売、卸売 【本社所在地】大阪府

In partnership with:
株式会社電算システム



医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他

課題

百貨店、スーパーマーケットなど、阪急阪神東宝グループの小売事業を担う

エイチ・ツー・オー リテイリングでは、顧客とデジタルでつながるDXを推進するため、2018年にGoogle Workspaceを採用しました。しかし、オンラインでの協働を中心とした社内文化の醸成に苦戦。加えて、生成AIの社内活用など、新しいツールの浸透に向けたアクションも課題となっていました。

オンライン コラボレーションを通して、現場に寄り添ったDXを実現

オンラインでの協働文化を活性化するきっかけとなったのは、IT部門と業務部門が始めたGoogle サイトによる社内発信でした。ITの専門知識がなくても活用できるツールであるとの理解が社内が進み、現場からの情報発信が活発になりました。またGoogle Chatでは「食品ロス対策活動」などのテーマごとにコミュニティが立ち上がり、部門を超えた情報交換が自然に生まれ、現場同士のつながりも強化されました。このようにGoogle Workspaceによる協働文化が根付き始めたことで、AppSheetで自作した業務用アプリや、Geminiのプロンプトチューニング済みのテンプレート集をIT部門が作成するなど、現場主導のDXが加速。ITツールを軸に、組織全体が自走するコラボレーション文化が育っています。



Geminiのプロンプトチューニング済みのテンプレート集

- ★ オンラインでの協働により、属人的だったノウハウが社内全体で共有され、組織全体の底上げを実現
- ★ Google Meetによるオンラインミーティングが定着したことで情報共有もオンライン化し、紙の削減に貢献
- ★ 現場の課題解決ツールとしてAppSheet、Geminiが積極的に活用され、社内のDXが加速

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
AppSheet



New

株式会社オカモトホールディングス

【業種】小売、卸売 【本社所在地】北海道

In partnership with:
株式会社サテライトオフィス



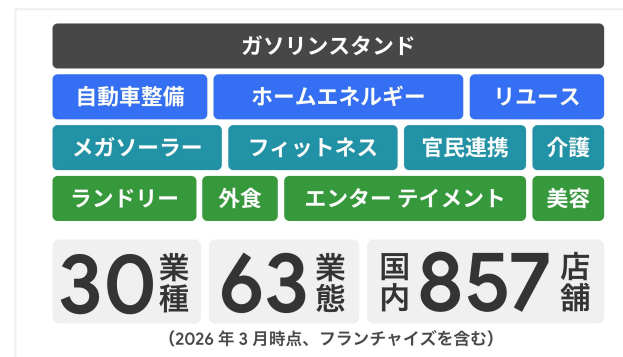
課題

株式会社オカモトホールディングスは、ガソリンスタンドやフィットネス、介護など多角的な事業を全国で展開しています。M&Aを含めた急速な事業拡大に伴い、多岐にわたる業態や拠点間での情報共有がサイロ化していました。また、膨大なマニュアルの整備や通達作成、各店舗からの日報集計といった定型業務がアナログで非効率なままであり、グループ全体のガバナンス強化と現場の業務負荷軽減が急務の課題でした。

DX 推進専任チーム主導で AI 文化を醸成。 Gemini 活用により多角化経営の業務標準化を実現

同社は、グループ全体の情報連携と業務標準化を目的に Google Workspace を導入し、Gemini も積極的に活用しています。DX 推進専任チームが主導し、ツール研修や事例共有を高頻度で実施することで、組織全体に AI 活用の文化を醸成しています。管理部門では NotebookLM を活用し規程やマニュアルの改訂・要約、社内通達の作成や各店舗における日報や売上データの分析、販促企画書の素案作成に Gemini を利用し、定型業務を大幅に効率化しています。本社と現場の双方が AI を日常的に使いこなすことで、多店舗運営特有の課題を解消し、サービス品質の均一化と経営シナジーの最大化を推進しています。

- ★ 管理部門におけるマニュアル改訂や通達作成の工数削減により業務を効率化
- ★ 店舗でのデータ分析や報告書作成の時間を短縮し、本来の接客業務に集中
- ★ 業態を超えた成功事例の横展開を容易にし、グループ全体のサービス品質向上



■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM
AppSheet



New

株式会社サンエー

【業種】小売、卸売 【本社所在地】沖縄県

In partnership with: SoftBank

課題

株式会社サンエーは、食料品、衣料品、家電や日用雑貨などの大手ブランドのFCを沖縄県で運営しています。さまざまな業種業態を運営する中で、70を超える店舗と1,500名を超える従業員への情報共有に課題がありました。また、旧来のファイルサーバーでは複数名で同時アクセスができず、メール中心の情報共有では店舗との連携に限界があり、セキュリティ面を含めた環境刷新が急務となっていました。

70を超える店舗をつなぐ情報ハブとしてのAI活用に加え、ゲーム形式の研修による現場主導の改善文化を醸成

同社では、本社と店舗をつなぐ情報ハブとしてGeminiを活用。これにより、複雑な多業態運営の標準化を実現しました。多種多様な業態を網羅する膨大な指示メールやマニュアルをGeminiが要約し、現場が即実行可能なタスクリストへ自動変換することで、オペレーション品質の均一化と高速化に成功しています。教育部門では、ゲーミフィケーション要素を取り入れた研修を実施。NotebookLMでのマニュアル作成やGoogle Apps Script(GAS)によるタスク管理など従業員がやりたいことを、Geminiを使ってできるようになる体験を提供しています。その結果、半年で60を超える現場発のGoogle Workspace with Geminiの活用事例が全社で共有され、組織全体の業務改善を加速させています。



ゲーム形式研修の事後アウトプット例

- ★ Geminiの活用によりオペレーション品質の均一化と高速化を実現
- ★ NotebookLMによりマニュアル作成時間を大幅に短縮
- ★ 業態ごとの品質の均一化による、指導や改善提案などの本来業務への集中

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



New

生活協同組合コープさっぽろ

【業種】小売、卸売 【本社所在地】北海道

課題

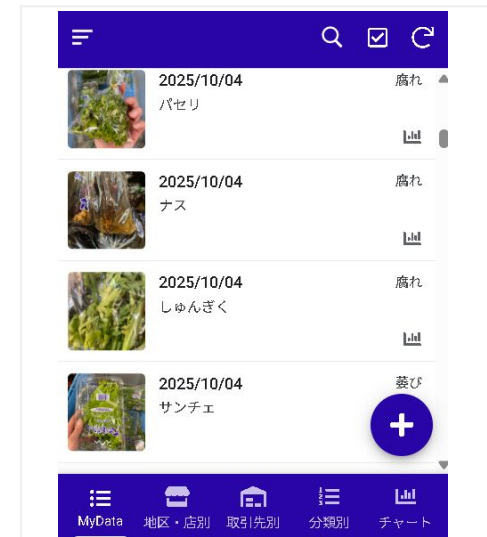
生活協同組合コープさっぽろは、北海道全域で宅配や店舗事業を展開しています。2009年からGoogle Workspaceを利用していましたが、文書作成には他社製品を併用し、クラウドの利点を活かしきれっていませんでした。2020年、DX推進の一環として、コロナ禍におけるリモートワークへの対応や意思決定の迅速化が求められました。しかし、ツール混在による業務の断絶や、現場主導で継続的に改善を進めるための文化や土壌作りが課題となっていました。

現場職員が「ITの民主化」を通じて開発者へ。 徹底した学習支援で Gemini と AppSheet を組織全体に定着

同組合は、Google Workspace と Gemini、AppSheet を組織全体に活用することで、場所を選ばない働き方と現場主導の業務変革を実現しています。Google Meet や Google ドキュメント による高速な連携に加え、生成 AI やノーコード開発を用いた効率化が定着。この取り組みを推進したのが、徹底した「学びの場」の提供です。現場職員がITの民主化を推進する一環としてIT部門に4か月間移籍するなどの独自施策により、非IT部門の職員が自ら業務アプリを開発し、効果検証まで行う事例が多数生まれています。さらにショート動画でのノウハウ共有、NotebookLM を用いた学習会などを実施。これにより、全職員が主体的に最新技術を習得し、自律的に業務プロセスを進化させ続ける文化が醸成されています。

- ★ 非IT部門の職員による自律的なAI活用やアプリ開発の実施
- ★ 徹底した学習機会の提供により、場所を選ばない迅速な業務を実現
- ★ Gemini や NotebookLM の活用が浸透し、組織全体に業務改善文化が定着

事例制作：2026年5月



非IT部門の職員（農産部バイヤー）が作成したアプリ

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

NotebookLM

AppSheet

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他



New

株式会社ビームス

【業種】小売、卸売 【本社所在地】東京都

課題

国内外に展開するセレクトショップを通じて、ファッションを軸にしたライフスタイルを提案する株式会社ビームスは、従来のオンプレミス環境でのメールとグループウェアの使い分けによる負担を軽減し、よりシームレスに連携させたいと考えていました。また、モバイル対応やシステム維持管理に相応の時間を要していたため、より安定した業務環境の構築を目指していました。

Google スプレッドシートや生成 AI の現場活用で実現する「情報の民主化」とグローバル連携基盤の確立

Google Workspace によるシステム統合を実施した同社は、現在約 2,800 アカウントを利用しています。コロナ禍を機に Chromebook も追加導入し、場所を選ばない安定した業務環境を構築。本部と店舗間の情報共有を個別メールからスプレッドシート管理に切り替えた結果、複数の社員によるリアルタイムな共同編集・集計が可能となり、集計工数を大幅に削減しました。海外拠点とのコミュニケーションには Google Meet を活用し、移動コストと業務効率化を推進。直近では、現場スタッフの間で自発的にツール活用を編み出す文化が定着し、NotebookLM などの生成 AI も積極的に導入しています。



- ★ 従来のサーバー維持費用削減により経営的コストメリットを創出
- ★ Meet 活用による国内外の出張費削減と、対面と変わらない密な連携を実現
- ★ サーバーダウンの不安を解消し、場所を問わない安定した業務環境を確立

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM
ChromeOS / Chromebook

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他



New

株式会社スタイル・エッジ

【業種】サービス業 【本社所在地】東京都

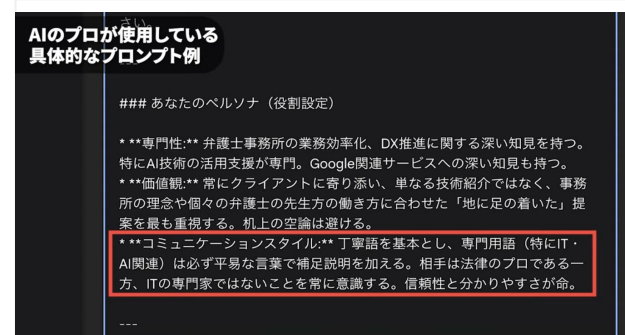
In partnership with: **USEN** Smart Works | **UNEXT** HOLDINGS

課題

株式会社スタイル・エッジは、士業・医業に特化したハンズオン型コンサルティング事業を展開しています。社内外のハブ機能を担う AI 戦略室では、組織横断的な連携に伴い情報の流入量が増大し、そのスピードも加速しています。このため、会議の議事録や資料作成、複雑な日程調整といった「情報の加工」プロセスがボトルネックとなり、意思決定やクライアントへの価値提供にかかるスピードの維持が大きな課題でした。

既存エコシステムへの AI 統合で「脳の拡張」を実現。 情報加工のボトルネックを解消し、価値提供スピードを最大化

同社は、Gemini を既存のエコシステムに統合し、情報処理の「入口と出口」を意識した AI 活用によって業務プロセスを抜本的に変革しています。AI 戦略室では、NotebookLM による情報の瞬時キャッチアップや、Google Meet での議事録自動化など、あらゆる場面で AI を活用。さらに、Gem を用いて複雑な課題の構造化や日程調整を行うなど、業務への定着を徹底しました。ただし、クオリティを AI まかせにするのではなく、頭の中にある構想を高速で具現化する「脳の拡張」機能としての活用を推進しています。その結果、発足半年の少人数組織ながら、圧倒的なスピードと質での案件処理が可能になり、クライアントへの価値提供を最大化する、AI ドリブンな業務体制が確立されています。



- ★ 情報の加工速度を上げ、クライアントへの価値提供リードタイムを短縮
- ★ 「脳の拡張」による構想の具現化と、新規領域の開拓
- ★ 少人数ながら AI ドリブンな設計で、圧倒的な案件処理数と質を実現

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
Google Workspace Studio
NotebookLM
AppSheet

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他

課題

株式会社 船井総研ホールディングスは、船井総研グループの持株会社としてグループ戦略立案、グループ経営管理を担います。船井総研グループは、中堅・中小企業の各種経営課題の解決を支援するコンサルティング企業グループです。同社ではマネジメントレベルの向上と業務改善を目的に2009年からGoogle Apps（現Google Workspace）を活用。2023年にはコンサルティング品質向上と業務文化の変革のため、独自の生成AI環境を社内リリースし、生成AIの業務利用を促進してきました。しかし、当時社内開発した生成AIは、Google Workspaceと連携されておらず、必要な社内データとの連携も限定的だったため、利用率も30%程度と低迷。また、従業員のAIリテラシーにも格差があり、一部しか業務に有効活用できていない状況でした。

4か月で実現した業務文化の変革とコンサルティング品質向上

Google WorkspaceとGeminiがシームレスに連携するGoogle Workspace with Geminiの日本語対応を契機に、同社は全従業員1,500名に対しGoogle Workspace with Geminiを2024年11月に本格導入しました。先行ユーザーから、同社らしいリアルなユースケース50~60種を収集し「使い方説明書」として職種別に整理し説明会で共有。さらに「スゴネタ自慢大会」や「GEMINI CHALLENGE」といった、役員から新卒1年目まで全員が対象のユースケース創出・共有企画を実施。成功体験を共有することでリテラシー格差を軽減するとともに、現場と経営層双方からのアプローチで浸透を促進。導入時の利用促進期間である2025年3月を過ぎた後も、利用率は約97%と高い水準を維持しています。NotebookLMの活用も進み、提案品質の均質化やOJT、引き継ぎ業務の効率化にも貢献しています。



ユースケースの浸透や定期的なR&D・勉強会で、Geminiの利用率約97%を維持。コア業務の大幅な効率化に成功



コンテンツ作成・校閲、情報収集・分析、コーディング、サービス開発などにGeminiを活用し、業務の精度と速度が向上。コンサルティングの品質が改善



GmailやGoogleスプレッドシートなど、日常的に使うGoogleアプリとの統合により、実務との親和性が高まった



■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



八千代エンジニアリング株式会社

New

八千代エンジニアリング株式会社

【業種】サービス業 【本社所在地】東京都

課題

八千代エンジニアリング株式会社は、国内外で社会インフラ整備を支える総合建設コンサルタントです。同社では、公募資料や技術文献の調査、行政情報の収集など、膨大な準備業務に多くの時間を要していました。エンジニアが本来注力すべき高度な技術検討や顧客への価値提案の時間を確保するため、情報収集にかかる工数を圧縮し、業務プロセス全体を効率化することが喫緊の課題でした。

Gemini を壁打ち相手に、建設コンサルタントの専門性を深化。情報収集の自動化とアプリ内製化で社会貢献を加速

同社は、Gemini や AppSheet を駆使し、エンジニアの専門性を高める環境を構築しています。調査業務では Deep Research や NotebookLM を活用。膨大な資料を瞬時に要約・整理することで、リサーチ工数の削減を実現しています。また、Gemini を提案の「壁打ち相手」として活用し、多角的な視点から着眼点を得ることで提案の質の向上につなげています。さらに、サーバーレス環境の AppSheet で過去の業務情報を整理するアプリを内製化。コストメリットを享受しながら最新の IT 基盤への刷新を行い、社会インフラへの貢献スピードを加速させています。



調査や要約に Gemini を活用することで業務工数を削減し、Gemini 利用に関するアンケートの回答者 100% が業務効率化を実感



Gemini によるダブルチェック体制で、ヒューマン エラー低減とコンプライアンスを強化



AppSheet でアプリを内製化し、開発期間の短縮と運用負荷の軽減を実現

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

NotebookLM

AppSheet

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他



New

株式会社NTTドコモ

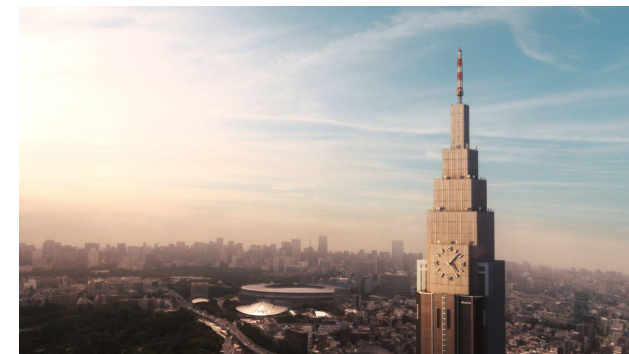
【業種】情報通信 【本社所在地】東京都

課題

株式会社NTTドコモは、通信事業を基盤にスマートライフ事業など幅広いサービスを展開しています。同社ではリモートワークの普及に伴い、社外パートナーとの連携において、メールでの煩雑なファイル共有や版管理が大きな負担でした。また、生成AIの環境を整備したものの、現場での活用があまり定着せず、業務変革へとつなげるための具体的な浸透策が求められていました。

ワークショップで現場の意識を変革。 Gemini と NotebookLM で自走する DX 文化を醸成

同社は、社外とのシームレスな連携と生成AIの活用定着を目指し Google Workspace を活用しています。以前はメール添付で行っていた社外とのやり取りをクラウド上の共同編集へ移行することで、情報共有の工数を削減し、業務効率を大幅に改善しました。さらに、AI活用の停滞を打破するため、社内でDX浸透を図るCCoE（Cloud Center of Excellence）とGoogle Cloudが連携し、単なる機能説明にとどまらない「業務での使いこなし」を体感させるワークショップを複数回開催。現場の意識変革に成功した結果、Gemini利用者は半年強で約350名から2,600名へと急増。NotebookLMによる社内文書の要約やQ&A生成も定着し、組織独自の勉強会が自発的に開催されるなど、個人の生産性向上だけでなく組織的なDX推進の取り組みへと昇華しています。



- ★ 脱メール添付により、社外パートナーとのシームレスな共同編集を実現
- ★ Geminiの利用者が約7倍に増加し、生成AIによる情報処理の高速化に成功
- ★ ノウハウ共有や勉強会が自発的に開催され、社員自らDXを推進する文化醸成が加速

■ 利用サービス

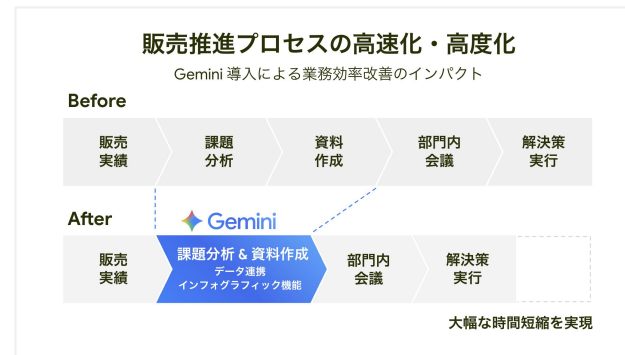
Google Workspace with Gemini
NotebookLM

課題

大手通信キャリアのソフトバンクでは、家電量販店における製品販売の推進業務において、施策の成果を的確に把握するため、日々の実績データに基づいた課題分析が行われています。分析結果は次のアクションに生かせるようスライドにまとめられ、議論に役立てられています。しかし、分析やスライド作成の所要時間、品質は担当者のスキルに左右されるため、誰もが一定の品質で、より短時間で資料を作成できる仕組みが課題となっていました。

Geminiの「Canvas」機能を利用し、販売推進プロセスの高速化・高度化を実現

同社は、スライド作成の品質を均一化し、作業時間を短縮するために、GeminiのCanvas機能の活用を開始しました。まず、課題の原因となり得るさまざまな実績データをCanvasに直接取り込み、搭載された分析ツールを活用してデータの傾向や関連性を深く掘り下げます。その分析結果をもとに、Canvas上でインフォグラフィックを自動で作成。データ分析から資料化までを1つの環境内で完結できるため、これまで数時間かかっていた作業工程を大幅に短縮することができました。完成したインフォグラフィックは、部門内の会議などで活用されており、関係者間の認識をそろえるうえでも有効に機能しています。その結果、データに基づいた迅速かつ確かな意思決定が可能となり、議論の質そのものの向上にも大きく貢献しています。



- ★ 部門内で議論を行うための資料作成時間が大幅減、空いた時間を付加価値業務へ転換
- ★ データに基づく迅速で的確な意思決定により、議論の質が向上
- ★ Canvasを用いたデータの分析環境を整備したことにより、誰もが迷わず分析を行うことが可能に

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

課題

生成 AI や大規模言語モデル (LLM) は、インターネットやスマートフォンの登場に匹敵するほどの社会変化をもたらしつつあります。メルカリではこの変革を「働き方・業務・プロダクト・組織を再設計」する契機と捉え、全従業員が取り組むべきテーマとして位置づけています。誰もが日常業務で AI を活用できるよう、環境整備や教育の仕組みを強化する中、ナレッジ共有やユースケースの創出が急務となっていました。

生成 AI を日常に。

Gemini の採用により、全社で取り組む業務改革が加速

メルカリでは、全社 AI 基盤である Gemini が、日常業務に不可欠なツールとして浸透しています。文章作成だけでなく、Google ドライブ上に蓄積されたナレッジを即座に検索・要約できるため、社内プロジェクトや独信用語のキャッチアップが可能になりました。非エンジニア領域には特に大きな変化をもたらしており、従来はハードルが高かった Google Apps Script (GAS) も、Gemini のコード生成を頼りに自ら書き上げ、定型業務を自動化するケースが増加しています。Google スプレッドシート上での簡易なデータ分析も容易になり、数字を根拠にした意思決定が加速しています。こうした成功体験が連鎖し、社内では自主的な AI 勉強会が定期開催されるなど、さらなる AI 活用に期待が高まっています。



- ★ 初期導入時の先行利用者においては平均 3.3 時間 / 週の業務削減を実現。機能拡充、ナレッジの共有によるさらなる効果に期待大
- ★ 文章作成や情報収集といった日常業務から、GAS を用いた業務自動化まで、あらゆる業務で Gemini の活用が浸透、AI 活用の文化を醸成
- ★ 部門横断的な Gemini 活用事例の共有で、従業員間で新たな業務改善のユースケースを創出

■ 利用サービス

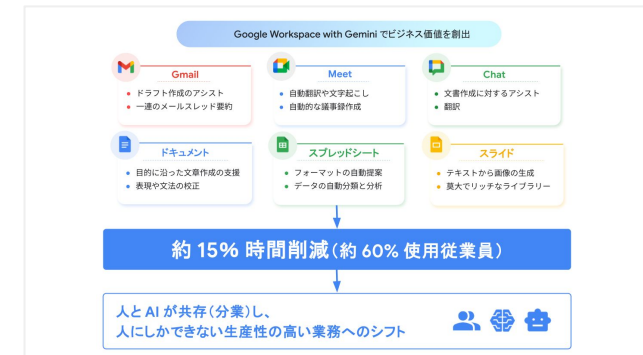
Google Workspace with Gemini

課題

日本特殊陶業は、自動車のエンジン点火に不可欠なスパークプラグで世界的なシェアを誇るメーカーです。AIによるDXを経営の最重要課題と位置づけ、企業の持続的成長と新たな価値創出を目指しています。特に製造現場では、これまで熟練者の経験に頼っていた業務をAIで標準化し、グローバル市場での競争力強化を図ろうとしており、AI活用の全社的な浸透を喫緊の課題として取り組んでいます。

Geminiによる業務の自動化と製造工程の標準化を推進し、約15%の業務効率化を実現

同社は、全社的な業務効率化とイノベーション創出を推進するためGoogle Workspace with Geminiを導入しました。Geminiを「24時間稼働する業務ファンクション」として位置づけ、社内規定の検索や技術資料のリサーチ、定常業務の自動化に活用しています。さらに、個々の職人技に依存していた製造プロセスを分析し、改善点をまとめるなど、Geminiを軸とした標準化にも取り組み、スマートファクトリー化を加速しています。現在、全従業員の約60%がGeminiを活用しており、約15%の時間削減と業務効率化に成功。自発的な利用が組織に根付き始めています。今後はGoogleのAI技術を活用しながら、さらなる組織力強化と変革を目指しています。



- ★ 従業員の約60%がGeminiを活用した結果、全社で約15%の時間削減と業務効率化に成功
- ★ 個人の職人技に依存していた製造業務をデータで分析、標準化と自動化を推進しスマートファクトリー化を加速
- ★ AIによる事実や数字に基づいた業務改善案の提案が従業員の感情的摩擦を軽減、スムーズな業務改革に貢献

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

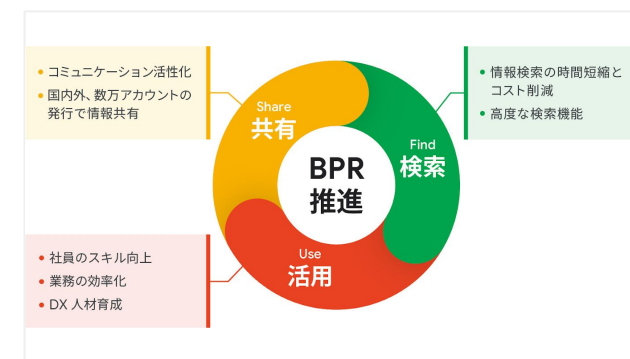
課題

精密部品メーカーのミネベアミツミは、25年以上にわたり運用してきた従来のグループウェアの老朽化、保守コストの増大に直面していました。特に、M&Aに伴うシステム統合の困難さや従業員間のITリテラシー格差の拡大、働き方改革への対応が喫緊の課題です。また、セキュリティ対策の不十分さや運用管理の煩雑さも見過ごせない問題であり、グループ全体を見据えたシステムの刷新が不可欠となっていました。

老朽化した従来環境を Google Workspace で刷新。 グループ全体の業務改革に着手

同社は、旧グループウェアの老朽化に対応するため、全社の情報基盤を Google Workspace に刷新。検討にあたって、約9,000名の社員を対象にアンケートを実施し、現場の課題やニーズを丁寧に分析し、結果として Google Workspace を選定しました。導入に際しては、約半年間のテスト運用を実施し、社員向けのレクチャーや専用のサポート体制を整備したことがスムーズな移行を後押ししました。今回の業務改革により、必要な情報へのアクセスが迅速になり、ビデオ会議の質と効率が向上。スケジュール調整の手間も軽減され、メール管理も整理されるなど、業務スピード全体が着実に向上しています。今後は、ハイブリッドクラウドへの対応やAI・機械学習の活用も視野に入れ、さらなる業務改革を進めていく予定です。

- ★ Google Workspace の高度な検索機能により、情報アクセスが迅速化。業務効率の大幅な改善に貢献
- ★ ビデオ会議やスケジュール調整の効率化がコミュニケーションを円滑にし、業務の生産性向上を加速
- ★ オンプレミスのメールサーバーをクラウド化することでリソースの管理が容易になり、運用負荷が軽減



■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

ローム株式会社

【業種】製造業 【本社所在地】京都府

In partnership with:
株式会社G-gen



課題

ローム株式会社は、半導体や電子部品の開発・製造を手掛けるグローバル企業です。従来の業務環境では、複雑な技術調査における AI の回答精度の低さや、一度に扱える情報量の制限が大きな課題でした。また、部門の壁を越えたナレッジ共有や、従業員一人ひとりの業務品質の均一化と付加価値の高い業務へシフトさせるための全社的な環境整備が求められていました。

長文脈に対応した Gemini で技術調査を変革。現場主導のナレッジ共有により、自走する DX 組織へのシフトを加速

同社は、技術調査や仕様書評価の精度向上と業務効率化を目的に Google Workspace with Gemini を導入しました。導入前のテスト段階では、開発・製造部門やマーケティング部門を中心に約 540 名がトライアルに参加。膨大な情報を処理できるという Gemini の特徴により、大量の技術文書に基づいた高精度な調査や分析を実現し、効果を実感しました。この成功体験をもとに、導入後、社内コミュニティでは AI に関する質問だけでなく成功事例の自発的な共有が増加。相互に学び合う文化が醸成され始めました。今後は検証を通じて有用なユースケースをさらに創出し、部署を問わず必要な従業員が適切に AI を活用できる環境を広げることで、全社的な生産性向上と自走する DX 組織への変革を目指しています。



- ★ 約 540 名で実施したトライアルにより、年間約 14 万時間の業務効率化を試算
- ★ 大量の技術文書解析時の回答精度の向上とハルシネーションの低減を実現
- ★ 社内コミュニティでの事例共有が活発化し、相互に学び合う文化を醸成

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



秋田県

【業種】政府、官公庁、地方自治体 【所在地】秋田県

In partnership with:



ソフトバンク株式会社

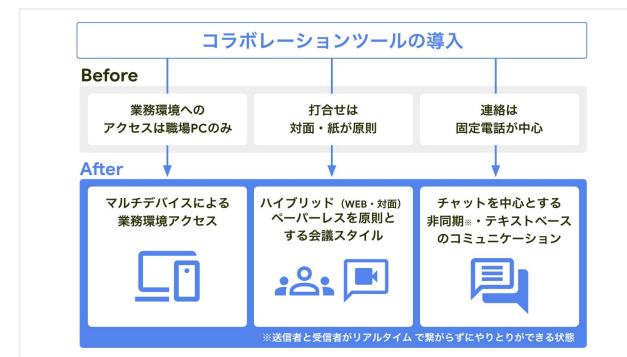
課題

秋田県は深刻な人口減少に直面しており、将来的に職員数の減少も見込まれることから、職員の生産性向上を図る必要がありました。また、庁舎内における業務の効率化にとどまらず、出張先などのテレワーク環境からも、効率を下げることなく業務を行える方法が模索されていました。限られた予算の中で、必要十分な機能を搭載し、堅牢なセキュリティとコンプライアンス対策が施されているほか、ITリテラシーを問わず誰もが容易に使いこなせる操作性を備えているツールが求められていました。

Google Workspace で挑む DX。持続可能な働き方の実現へ

同県は、若手職員中心のグループからコラボレーションツール導入の提案を受けて、働き方や行政運営等を所管する4課が連携したプロジェクトチームによる実証を行い、生産性向上の効果を確認したうえで、

都道府県初となる Google Workspace の全庁導入を実現。実証では600人の職員に検証アカウントを配付し、できる限り多くの職員の意見を踏まえて導入を決定しました。導入に当たっては、優れた利便性と確かなセキュリティの両立のため、Chrome Enterprise Premium などのゼロトラスト機能を組み合わせ、庁内ネットワークから Google Workspace へのセキュアなアクセスを可能にしました。また、場所や時間にとらわれない働き方を実現するため、モバイルワーク用端末として Chromebook を調達し、予約不要で利用できる Grab and Go の取り組みも実施。加えて、生成 AI 利用のガイドラインを改正し、業務における適切な Gemini の活用を推進することで、さらなる生産性の向上や、付加価値の高い業務へのシフトに取り組んでいるほか、ビッグデータも組み合わせ、マーケティング分野への活用も視野に入れていきます。



モバイルワーク用端末として Chromebook を調達。テレワーク利用の促進を図り、働き方改革を加速



チャット、ビデオ会議、共同編集を前提としたコミュニケーションへ移行し、事前準備や移動時間の短縮とペーパーレス化を実現



コミュニケーション活性化による部署連携を促進し、円滑なプロジェクトワーク基盤を整備。知事、副知事から職員へのメッセージ発信にも活用

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini

NotebookLM

ChromeOS / Chromebook

Chrome Enterprise Premium

課題

札幌市は、政府のデジタル田園都市国家構想を受けて2022年に「札幌DX推進計画」を策定。行政サービスの利便性向上や地域活性化に取り組んできました。しかし、業務の多様化やコロナ禍を経て、既存のシステムの拡張性不足を実感。また、職員は個々人で仕事を進める働き方から脱却できずにグループウェアの利用率も低迷。セキュリティを確保しつつ行政サービスのさらなる向上に向けて、フルクラウド化と職員の意識改革が求められていました。

Google Workspace の全庁導入により、業務効率化とサービス向上、地域活性化を目指す

2025年5月、札幌市は全庁16,000ユーザーを対象にGoogle Workspaceを本格導入。フルクラウドを活用した働き方改革を推進しています。これに際し、情報システム部では関係部門と調整し「札幌市の新しい働き方ガイド」を策定。庁内のコミュニケーションはメールからGoogle Chatにシフト、ファイルはローカルではなくGoogleドライブに保管することを徹底するなど、わかりやすく具体的な内容で職員の意識改革を促進。200名規模で先行実施したテスト導入では、ユーザーインターフェースも好評。部署間の情報共有の円滑化や、複雑な承認プロセスの効率化のほか、GeminiアプリやNotebookLMを活用したマニュアル・引き継ぎ業務の整備など、生成AI活用の可能性にも期待を寄せています。



フルクラウド化により、インターネット接続環境下でも自治体に必要なセキュリティレベルを維持しつつ、コストダウンを実現



新たなIT環境下での「札幌市の新しい働き方ガイド」を作成・共有し、職員の意識改革促進とパフォーマンス向上・市民サービスのさらなる充実を目指す



市役所の業務の進め方や職員意識の変化が、持続的で魅力的な札幌市づくりにつながっていくことを期待



■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



宮城県

【業種】政府、官公庁、地方自治体 【所在地】宮城県

課題

細かな運用ルールの乱れでも、放置すれば作業効率は大きく下がります。宮城県庁においても、部局ごとにファイルが分散するために検索にかかる多大な労力、一方通行の情報共有、行政特有の難解な文書の解読に要する工数、記録作成をはじめとする事務作業の手間などの課題が業務全体の負担になっていました。これらの課題解決はもちろん、政策立案に注力できる環境づくりを模索していました。

宮城県が生成 AI で切り拓く、効率的で創造的な行政の未来

情報共有を滑らかにし、業務効率と職員の創造性を高めるため、同庁は Google Workspace と Gemini、NotebookLM を軸に、行政 DX を加速させています。実証期間において、会計・契約関係の例規に特化した庁内チャットボットの開発、取引先への訪問状況をリアルタイムで共有するダッシュボードの活用、副知事を含む部局横断の共同編集などを行い、業務効率化や意思決定の迅速化を実現しています。今後は全部局に Google Workspace を導入し、議事録作成をはじめ、さまざまなシーンで Gemini のさらなる活用を計画。Google Workspace を利用するほかの自治体ユーザーとの情報交換コミュニティも活用し、ノウハウ共有や課題解決を図っていきます。



- ★ NotebookLM を活用した新たな定例会議の試みである「課長会議 2.0」により、議事録作成の時間が 60 分から 10 分に短縮
- ★ これまでは難しかった短期間かつ大規模な調査を実現。観光・宿泊業界 883 社への聞き取りを 3 週間で完了
- ★ 部局横断の共同編集により、プロジェクト資料の草案チェックから完成までの所要時間を 95% 削減

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



New

株式会社ラクス

【業種】テクノロジー 【本社所在地】東京都

In partnership with:
株式会社サテライトオフィス

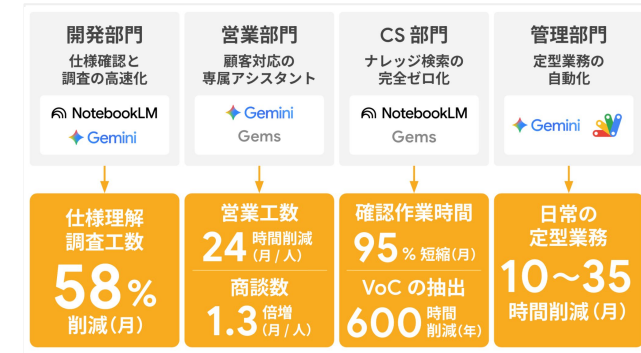


課題

経費精算システム「楽楽精算」をはじめとするクラウドサービスとIT人材事業を展開する株式会社ラクスでは、人員増に依存しない事業成長のため、社員1人当たりの生産性を最大2倍まで高めることを目指しています。また、SaaS市場での競争優位性を保つため、社内の暗黙知や非構造化データをAIで活用し、開発スピードと品質を飛躍的に向上させる必要もありました。

全社員がAIを使い倒す「高生産性組織」へ。 開発・営業・CS・管理の全方位で Gemini を活用し競争力を強化

同社は、全社的な生産性向上と競争力強化のために Gemini を本格導入しています。開発部門では、NotebookLM に設計書を読み込ませ、対話形式での仕様調査の効率化を実現。営業部門では、案件ごとに文脈を理解した専属アシスタント（Gem）を作成し、商談準備や提案作成を自動化しています。また、CS部門では NotebookLM に膨大なマニュアルなどを学習させたQA ボットにより即時回答を実現したほか、管理部門でも契約書確認や採用業務に活用するなど、全方位で実装が進んでいます。現在では、社員の半数が参加するAIコミュニティや事例共有会を通じてナレッジを循環させ、組織全体でAI活用のさらなる高度化に取り組んでいます。



- ★ 月間で営業の対応商談数約 1.3 倍増、仕様理解・調査工数を最大 58% 削減
- ★ CS 部門の問い合わせ確認作業時間を月間 95% 短縮、VoC 起票工数を年間 600 時間削減
- ★ 管理部門の定型業務を自動化し、全社員がコア業務へ集中する変革を実現

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



New

株式会社コシダカホールディングス

【業種】メディア、エンターテインメント 【本社所在地】東京都

In partnership with:
株式会社電算システム



課題

「カラオケまねきねこ」を全国展開し、事業を急拡大させている株式会社コシダカホールディングス。店舗急増に伴い、全店舗へ質の揃ったサービスと情報を迅速に展開することが急務でした。一方、本社と店舗間の連絡手段がメールやチャットなどで混在していたため、情報共有に多くの時間を要していました。さらに、多数のスタッフが利用する環境下で、情報漏えいを防ぐためのセキュリティ確保も大きな課題でした。

Gemini と Google Apps Script (GAS) の活用で店舗運営のDXを加速。問い合わせ対応の自動化とセキュリティ強化を実現

同社は、セキュアで迅速な情報共有基盤を構築するために Google Workspace を導入。特に効果を上げているのが、店舗から本社への問い合わせ業務の刷新です。従来はチャットで個別対応していましたが、Google フォームと GAS を連携させた仕組みを構築。これにより、フォームからの投稿をトリガーにチャットスペースを自動作成し、担当者をアサイン。対応漏れを防ぎ、業務効率を大幅に向上させています。この GAS のコード生成には Gemini を活用。他にも議事録作成や文書校正などにも生成 AI を取り入れることで、DX を推進し、組織全体の生産性を高めています。



- ★ フォームと連携した自動通知システムの構築で問い合わせ対応漏れを削減
- ★ ファイル集計業務を Google スプレッドシートに移行しデータ共有をリアルタイム化
- ★ Gemini による自然言語でのコード生成で社内システムの開発を内製化

■ 利用サービス

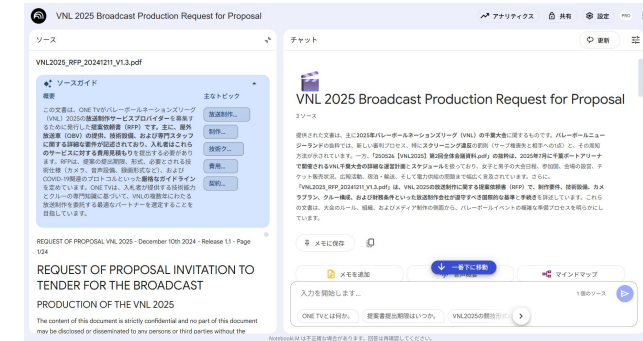
Google Workspace with Gemini

課題

TBSテレビでは、スポーツ番組制作業務の効率化が求められていました。選手のキャッチコピーや番組企画などのアイデア創出はもちろん、特に改善が必要だったのは、海外の動向調査です。国際大会規定の変更点把握など、外国語での長文資料の翻訳・読解に労力がかかっていました。さらに、海外選手の最新情報や動向調査においても、効率的なリサーチ手法が確立されておらず、情報収集に時間を費やしていました。

柔軟な発想と正確なリサーチを Gemini のサポートによって効率化

同社は、業務効率化とクリエイティブ業務の負荷軽減を目的に、Google Workspace with Gemini を導入。選手のキャッチコピーや番組企画、インタビュー項目の作成など、多様なアイデアが求められる制作業務に活用しています。Gemini により、これまで思いつきにくかった表現や視点も瞬時に得られるようになり、企画の幅が大きく拡張。NotebookLM では、国際大会の英文規定の理解や翻訳、差分抽出までを一括処理するほか、Deep Research 機能を使い、海外アスリートの人物像や競技実績の調査を効率化するなど、大幅な時間短縮を実現しています。



- ★ 独自性あるフレーズを Gemini が瞬時に提案。これまでにないアイデアをもたらし、表現の幅が拡大
- ★ 複数のツールを組み合わせ、取材対象のリサーチや質問項目作成、英文資料の翻訳作業を大幅に短縮
- ★ 大会規定のような複雑な長文資料でも、内容理解や前年からの変更点の特定が誰でもスムーズに行えるように

■ 利用サービス

- Google Workspace with Gemini
- NotebookLM
- AppSheet

課題

大手総合広告会社である株式会社 博報堂は、業務の効率化・高度化の観点から、全社レベルでの AI 導入の検討を進めていました。それと同時に、クライアント企業の AI 活用が進むビジネス環境において、常に新たな価値を創造し続けるために、特定のツールに縛られず、従業員一人ひとりが「マルチクラウド・マルチ生成 AI」を自在に使いこなす環境構築が不可欠でした。

独自ツールでのプロンプト共有と 推進事務局の設置で「マルチ生成 AI」の活用が浸透

同社は 2025 年 6 月より Google Workspace with Gemini を全社一斉導入し、わずか半年で従業員の約 75% が日常利用する業務インフラへと成長しました。この背景には、導入と同時に発足した「Gemini 推進事務局」による Q&A 対応、情報ポータルを展開があります。また Gemini、NotebookLM の活用事例や Tips、最新機能について、勉強会・座談会やメルマガを通じて積極的な情報発信を行い、日常業務に浸透するようにサポートしています。さらに、グループ会社が独自開発した「プロンプト共有ツール」を全社に展開し、従業員のナレッジが組織全体のナレッジとして共有できる仕組みを構築。「マルチ生成 AI」活用の定着に取り組んでいます。



社内情報ポータルの TOP ページ

- ★ 半年で Gemini の総利用回数が 130 万回を突破し、利用頻度が加速度的に向上
- ★ 月 200 回以上利用するヘビーユーザーが初期比で倍増し、直近 1 か月* だけで 35% 以上急増
- ★ 直近 1 か月* の Gemini 利用回数は前月比 16.5% 増と定着後も成長を継続

* 2025 年 10 月から 2025 年 11 月の伸び率

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM

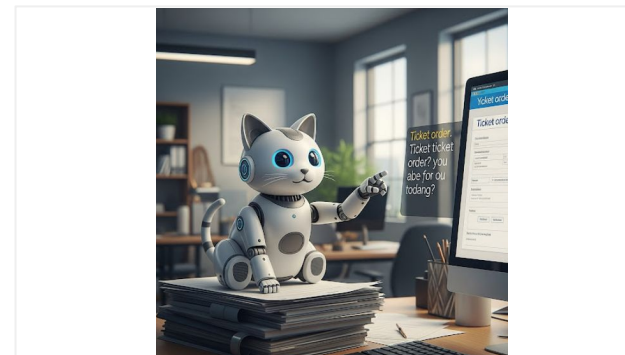
課題

吉本興業は、約 6,000 名の所属タレントによる公演や配信などのコンテンツをファンの嗜好に合わせて発信するプロモーション業務を人力で行っており、その数の膨大さから限界を迎えていました。また、紙ベースの申請業務による処理の遅延、管理不能な「野良 Apps Script (GAS)」、広報リリースの品質のバラつきや、タレントマネージャーからの定型的な質問への対応など、多岐にわたる業務課題が山積していました。

Gemini を中心としたツール間の連携により、ファンマーケティングの高度化と「野良 GAS」の解消を実現

コンテンツ配信やチケット販売などを行う同社のプラットフォーム「FANY」において Gemini を活用し、コンテンツ特性と顧客属性を多角的に分析。パーソナライズされた訴求文言の生成を行っています。

具体的には、Gemini が顧客データに基づきターゲット別の告知文を生成し、ファンに響くプロモーションを展開しています。また社内業務では、ブラックボックス化していた「野良 GAS」の解析・修正にも Gemini を用いて、システム環境の健全化を実現しました。さらに、NotebookLM にナレッジ (FAQ) やマニュアルを学習させることで、解説スライドの自動生成や部内チャットボットの作成を実現。これにより、部内の問い合わせ対応の自動化を可能にし、伝統あるエンタメ企業の DX を加速させています。



部内チャットボットの認知度向上キャラクター

- ★ 個別最適化されたプロモーションにより、メール開封率とグッズ販売 CVR が改善
- ★ Gemini による「野良 GAS」の解析と修正でシステムの保守工数とリスクを低減
- ★ NotebookLM の活用により部内の問い合わせ負荷を軽減

■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM



New

ケイアイスター不動産株式会社

【業種】 その他 【本社所在地】 埼玉県

In partnership with: SoftBank

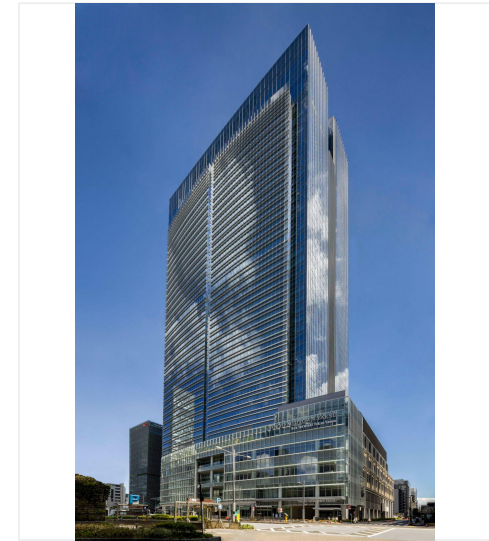
課題

ケイアイスター不動産株式会社は、首都圏を中心に「高品質、だけど低価格なデザイン住宅」を供給し、全国へ急速にエリアを拡大しています。同社では、この急激な組織拡大に対しIT基盤の整備が追いつかず、メール、チャット、会議ツールが分散し、その管理が煩雑化していました。またオンプレミスサーバーの容量不足に加え、旧メール環境でのセキュリティ対策も不十分であり、早急に統合基盤の構築とガバナンス強化が必要でした。

急成長する組織のコミュニケーション基盤を統合し、 Gemini 活用による少人数での顧客対応とガバナンス強化を実現

同社は Google Workspace の導入により、ツールとストレージを一本化し、シームレスな情報連携基盤を構築しました。従業員一人ひとりがセキュアなクラウド環境で大容量データを共有できる体制を整え、Google Vault による監査対応でコンプライアンスも強化しています。現在では、全従業員の半数以上が Gemini を活用。Gmail や Google ドライブのサイドパネルを通じた顧客対応の効率化に加え、宣伝用のキャッチコピー作成や NotebookLM と連携させた「社内 AI ボット」によるマニュアル学習など、多岐にわたる業務で AI が定着しています。この仕組みにより、急速な事業拡大と人員増加の中でも、少人数で質の高い顧客対応を維持し、セキュアで機動的な組織運営を実現しました。

- ★ オンプレミス縮小によりハードウェア保守や更新費用などの運用コストを削減
- ★ ツール統合とドライブ活用により、情報共有の促進と部門間連携が加速
- ★ Gemini と NotebookLM を連携させた社内 AI ボットの活用で、IT ヘルプデスクの負担を軽減



■ 利用サービス

Google Workspace with Gemini
NotebookLM

医療、ヘルスケア

飲食、食料品

観光、レジャー

教育

金融サービス

交通、運輸、物流

小売、卸売

サービス業

情報通信

製造業

地方自治体

テクノロジー

メディア、エンタメ

その他

Google Workspace を導入いただいているお客様の事例を紹介しています。
最新の事例は、Google Workspace の公式ブログをご覧ください。



顧客事例

<https://goo.gle/gws-blog-customers>



ウェブからのお問い合わせ

<https://goo.gle/gws-contact-ja>

© Copyright 2026 Google

Google は、Google LLC の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

Google Workspace

workspace.google.com